

令和6年度学校評価（1学期末） 評価結果の概要

令和6年8月27日

苫小牧市立開成中学校長 能登 敬久

令和6年度学校評価（1学期末）の各評価者を対象としたアンケートの集計結果を本校ホームページにおいて公表しました。また、この度、

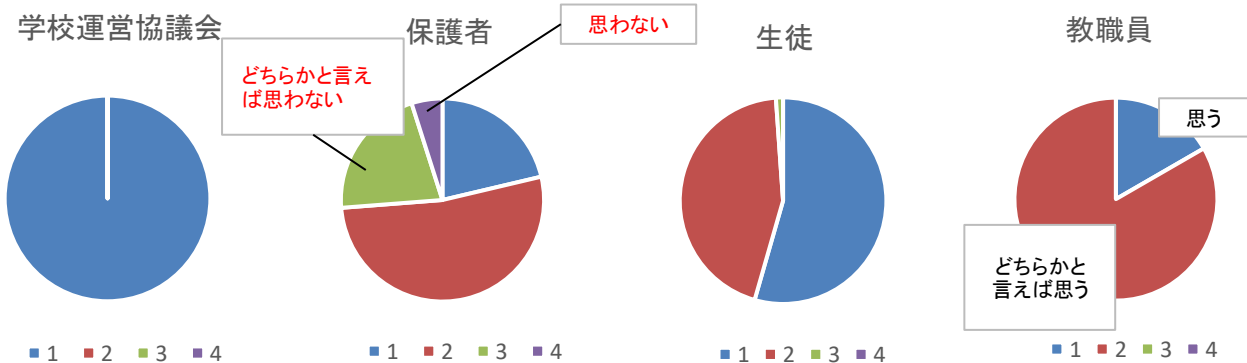
- ・ 四者共通の指標である10項目についての考察並びに今後の取組
- ・ 記述によりいただいたご意見に対する本校の見解や今後の取組

について取りまとめましたので、保護者・地域の皆様に公表いたします。

I 共通指標の集計結果及び考察

※「共通指標」・・・四者の評価者に対し同趣旨の質問をし、四者の意識の差を把握するための指標

共通指標1 分かりやすい授業や個に応じた授業が行われているか。



選択肢 ①思う、②どちらかと言えば、思う、③どちらかと言えば、思わない、④思わない

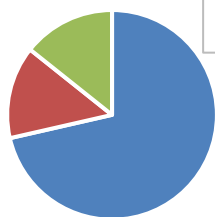
〈考察 共通指標1〉

- ・ 99%の生徒、全ての教職員が「分かりやすい授業や個に応じた授業が行われている」と回答している一方、26%の保護者が「行われていると思わない」と回答しています。
- ・ 本校といたしましては、ねらいや手立てを明確にして、誰にでも分かる授業づくりを行い、教育相談や三者懇談等を通して生徒及び保護者の皆様のニーズを把握しながら、個々の生徒の理解度に合わせた個別指導やタブレットによる学習、家庭学習指導や、未定着の事項を補充する学習の充実に努めてまいります。

共通指標2

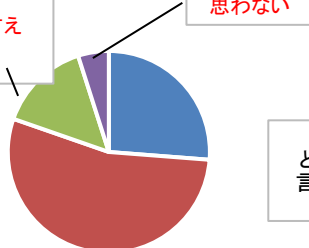
生徒が、話し合い活動や表現活動を通じて自らの考えを深めたり、広げたりする授業が行われているか。

学校運営協議会



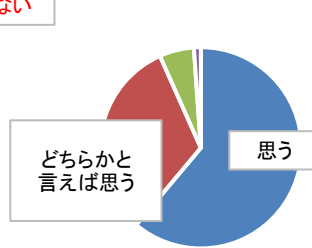
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

保護者



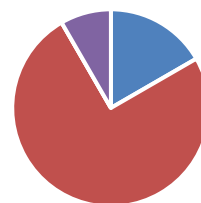
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

生徒



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

教職員

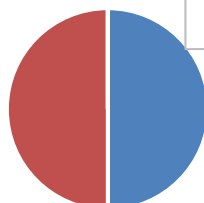


■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

共通指標3

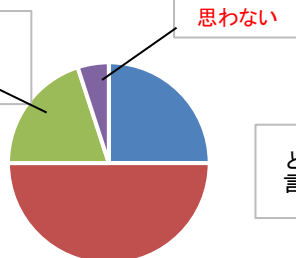
生徒が、自分で考えた手立てで課題解決に取り組む場面が設定された授業が行われているか。

学校運営協議会



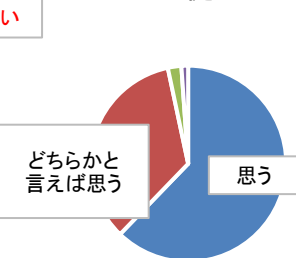
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

保護者



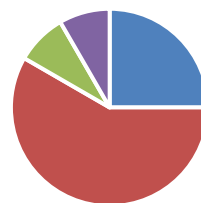
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

生徒



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

教職員



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

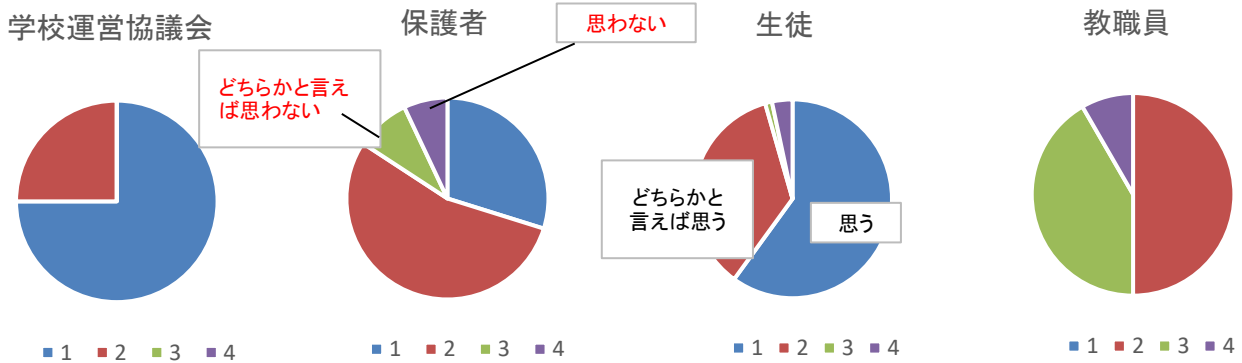
選択肢 ①思う、②どちらかと言えば、思う、③どちらかと言えば、思わない、④思わない

〈考察 共通指標2・3〉

- （共通指標2について）「授業で話し合ったり発表したりする活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする場面があった」と回答した**生徒の割合は93%**だった一方、**保護者は80%**に留まり、やや低い状況にあります。
- （共通指標3について）「自分で考えた手立てで課題解決に取り組む場面が設定された授業が行われている。」と回答した**生徒の割合は97%**だった一方、**保護者は75%**に留まり、やや低い状況にあります
- 各教科の授業のほか、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の授業で話し合ったり発表したりする場面を積極的に設定し、主体的、対話的で深い学びの実現に向け、自ら進んで考え自ら進んで取り組む力の育成に努めてまいります。
- 本校といたしましては、学力向上につながる授業改善を通して「自分で考えた手立てによる課題解決に取り組む場面の設定」などに取り組んでいますが、保護者の皆様には、参観日ほか様々な機会にご来校いただき、本校で目指す授業をご覧ください機会を一層充実するほか、本校の教育活動をホームページや学校だよりなどで積極的に発信してまいります。

共通指標4

授業のほか様々な教育活動でタブレットを活用し、教育活動の充実に努めているか。



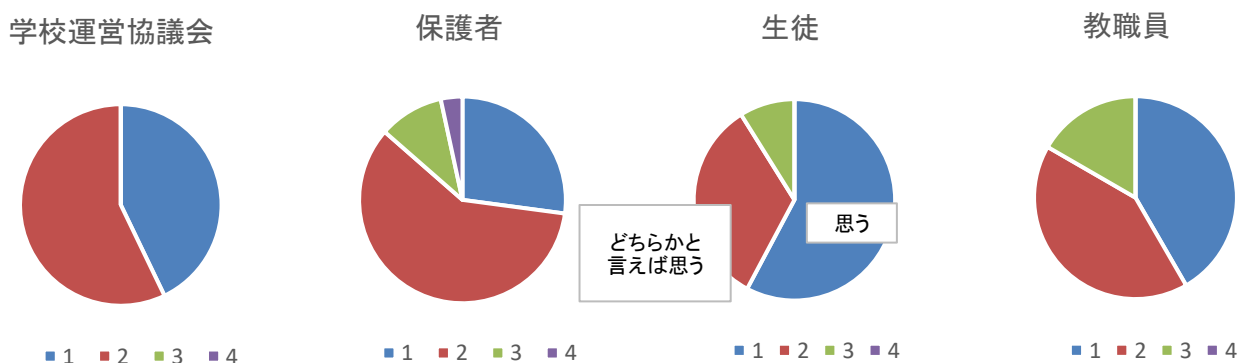
〈考察 共通指標4〉

- 「授業のほか様々な活動でタブレットを活用し、教育活動の充実に努めている」と回答した**生徒の割合は96%**だった一方、**保護者は75%**に留まり、やや低い状況にあります。また、50%の教職員は、「タブレットの活用」の充実の必要性を感じています。
- 今後も、授業での活用を一層促進して学習活動を充実していくとともに、Eライブラリ(※)による反復学習やテスト対策、授業のまとめや発表活動への自宅からのオンライン参加など、多様な場面で活用し教育効果を高め、保護者や地域の皆様には、タブレットを活用した学習活動の様子を実際に参観できる機会の充実に努めてまいります。

※Eライブラリ：タブレットを使用してドリルなどの学習を行うオンラインの学習支援サービス。

共通指標5

地域と連携協働し、地域の人材・施設を適切に活用した教育活動の充実に努めているか。

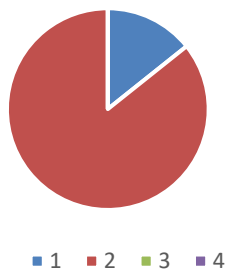


〈考察 共通指標5〉

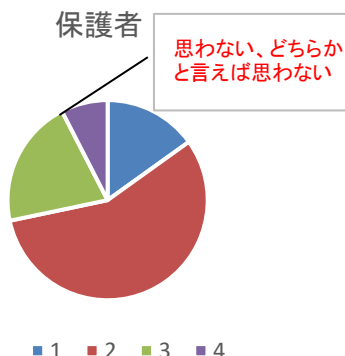
- 全ての学校運営協議会委員、86%の保護者、91%の生徒**が「学校が地域と協働し、地域の人材や施設を適切に活用した教育活動の充実に努めている」と回答しています。
- 今後も、2学年職場体験、学校・地域合同防災訓練、地域清掃、自治会祭典など様々な活動において地域住民の皆様との協働によって教育活動を推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

共通指標6 いじめの未然防止、再発防止に努めているか。

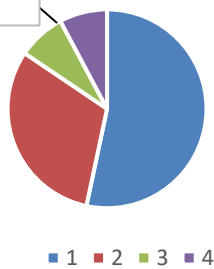
学校運営協議会



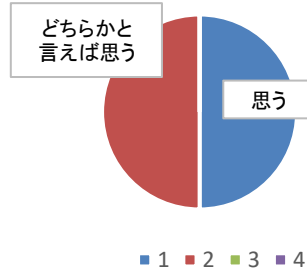
保護者



生徒

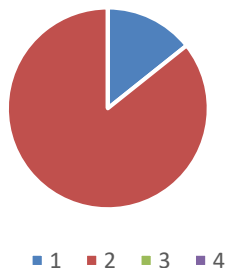


教職員

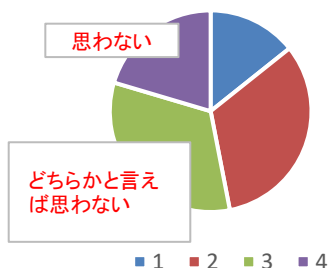


共通指標7 生徒が安心できる学校づくりや居場所づくり、不登校生徒への支援に努めているか。

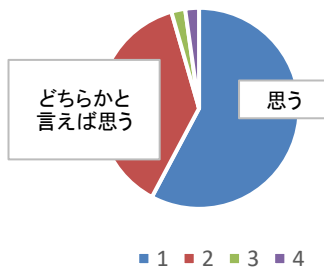
学校運営協議会



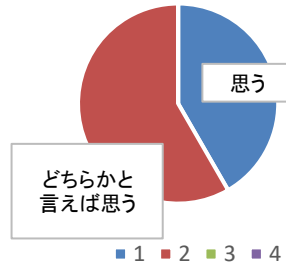
保護者



生徒



教職員

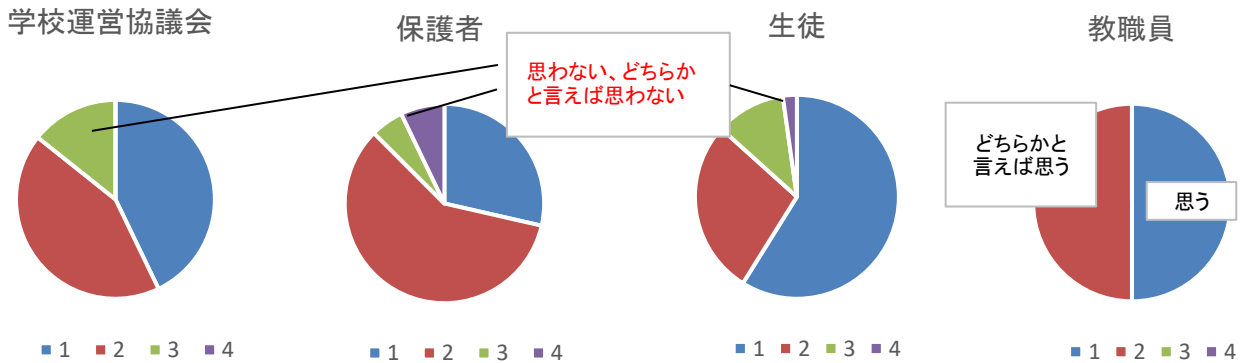


選択肢 ①思う、②どちらかと言えば、思う、③どちらかと言えば、思わない、④思わない

〈考察 共通指標6・7〉

- ・（共通指標6について）全ての教職員が「いじめの未然防止、再発防止に努めている」と回答した一方、保護者の28%、生徒の16%が「努めているとは思わない」と回答しています。
- ・ 本校といたしましては、「いじめを絶対に許さない」との認識に立ち、「生徒が嫌な思いをした」という事案が発生したときは、関係が再構築できることを目指して、双方の生徒への聞き取りや指導、心のケア、家庭との情報共有に努めているところです。いじめに限らず、子どもたちが困ったり嫌な思いをして困っていること把握した際は、直ちに対応してまいりますので、遠慮なくご相談ください。
- ・（共通指標7について）全ての教職員及び96%の生徒が「生徒が安心できる学校づくりや居場所づくり、不登校生徒への支援に努めている」と回答した一方、53%の保護者が「努めていない」回答しています。
- ・ 本校では、年度当初から1階生徒玄関前にサポートルームに教員を配置し、不安や課題を抱える生徒を個別に支援する体制をとっております。また、欠席の多い生徒の保護者と管理職・学級担任との面談をとおして、生徒やご家庭の状態に応じた支援に努めております。また、フリースクール等の民間施設、市福祉部局やスクールソーシャルワーカーなど関係機関の協力を得ながらサポートを進めているところです。
- ・ 今後も、生徒の悩みや不安などの状況、保護者の意向、主治医からの指示、関係機関との連携状況について、全教職員で共有して対応してまいりたいと存じますので、ご理解とご協力をお願いします。

共通指標8 思いやりや礼儀、公正などを大切にする心を育む教育に努めているか。

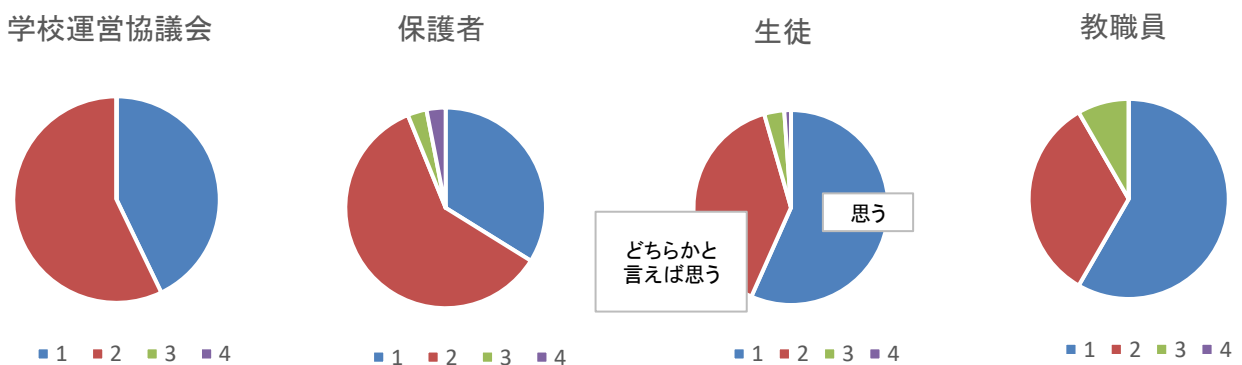


選択肢 ①思う、②どちらかと言えば、思う、③どちらかと言えば、思わない、④思わない

〈考察 共通指標8〉

- 全ての教職員が「思いやりや礼儀、公正などを大切にする心を育む教育に努めている」と回答した一方、14%の学校運営協議会委員、13%の保護者、13%の生徒が「努めているとは思わない」と回答しています。
- 本校では、全ての教育活動を通じて、多様性や合理的な配慮を踏まえ、人を思いやる心や生命を尊重する心、公平・公正を大切にする心の育成に努めているところです。子どもたちの豊かな心が地域生活で実際の姿や行動として発揮できるよう、地域との連携協働の充実に一層努めてまいります。

共通指標9 防災訓練や防犯、薬物乱用、インターネットの利用等の学習活動を適切に実施し、危機管理の充実に努めているか。

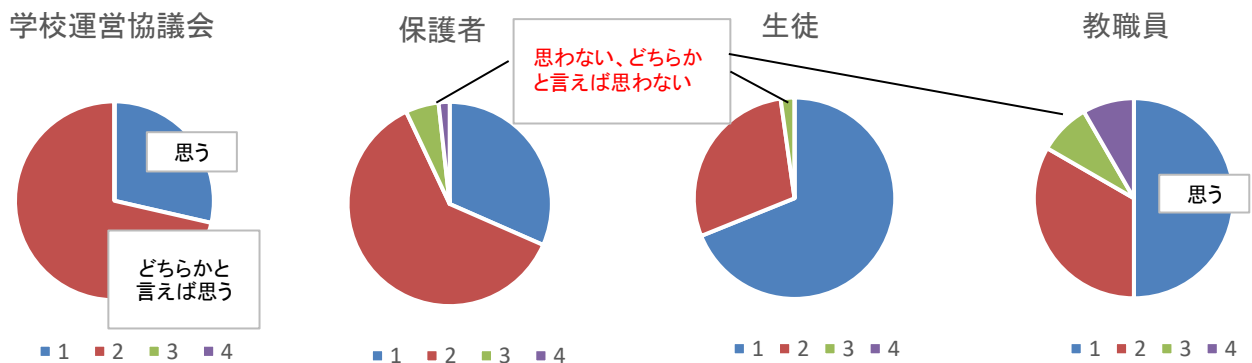


選択肢 ①思う、②どちらかと言えば、思う、③どちらかと言えば、思わない、④思わない

〈考察 共通指標9〉

- 学校運営協議会委員、保護者、生徒、教職員とも9割以上が「防災訓練や防犯、薬物乱用、インターネットの利用等に関する教育活動を通して危機管理に努めている」と回答しています。
- 本校では、学校・地域合同防災訓練ほか、学校安全の充実に向け外部講師による多様な学習活動を展開してきたところです。
- 今後も、保護者や地域の皆様と一緒に企画したり、生徒とともに参加していただいたりする機会を拡充し、地域とともに本校の危機管理の一層の充実に努めてまいります。

共通指標 10 生命や性に対する正しい理解を促すための学習活動を適切に実施しているか。



選択肢 ①思う、②どちらかと言えば、思う、③どちらかと言えば、思わない、④思わない

〈考察 共通指標 10〉

- 全ての学校運営協議会委員が「生命や性に対する正しい理解を促すための学習活動を適切に実施している」と回答した一方、保護者は93%、教職員は83%に留まっています。
- 本校では、生徒が思春期を健康で安全に安心して過ごしていく力を育成するため、保健体育の授業のほか、外部講師や養護教諭による授業を実施するなど、保護者の皆様にもご参観の機会を設定し、「性に関する指導」の充実に努めてまいりました。
- 今年度は、「性に関する指導」の小中高合同職員研修を8月に保護者に公開し、学校教育における性教育の現状や方向性について、保護者と共有しながら今後の本校の性教育の充実に取り組んでいるところです。今後とも、本校の性教育に関し、令和の時代に健やかな成長を願う保護者からご意見を賜りたくお願いします。